



2025年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 株式会社じげん 上場取引所 東
 コード番号 3679 URL <https://zigexn.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役 社長執行役員 CEO（氏名）平尾 丈
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 執行役員（氏名）波多野 佐知子（TEL）03(6432)0350
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満四捨五入）

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		EBITDA		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	18,537	9.6	5,143	7.1	4,118	6.7	4,106	6.8	2,807	1.2	2,800	0.9	2,812	2.3
2024年3月期第3四半期	16,920	29.0	4,802	33.5	3,860	34.6	3,843	34.8	2,775	36.2	2,775	36.2	2,749	34.7
	基本的1株当たり四半期利益				希薄化後1株当たり四半期利益									
			円 銭				円 銭							
2025年3月期第3四半期			27.47				27.46							
2024年3月期第3四半期			26.69				26.69							

（注）EBITDA＝営業利益（損失）＋減価償却費及び償却費＋減損損失＋固定資産除却損及び評価損－負ののれん発生益

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	34,447	18,881	18,896	54.9
2024年3月期	34,535	19,449	19,449	56.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	6.50	6.50
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	7.50	7.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		EBITDA		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	7.5	7,000	3.2	5,600	3.8	5,600	3.1	3,820	0.5	37.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) 保険マンモス株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	111,700,000株	2024年3月期	111,700,000株
2025年3月期3Q	11,273,155株	2024年3月期	7,698,090株
2025年3月期3Q	101,918,854株	2024年3月期3Q	104,001,910株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業は、ライフサービスプラットフォーム事業とその他で構成されております。

ライフサービスプラットフォーム事業は主力事業である「Vertical HR」、「Living Tech」と、安定的なキャッシュ・フローを生み出す「Life Service」から構成されており、それぞれの状況は以下のとおりです。

a. Vertical HR

Vertical HRは、株式会社リジヨブ（美容、ヘルスケアの領域に特化した求人情報を提供する媒体『リジヨブ』を運営）、株式会社ミラクス（介護・保育分野における人材紹介・派遣事業『ミラクス介護』等を運営）、株式会社アップベース※（建設領域に特化した人材紹介事業『建設JOBs』、不動産領域に特化した人材紹介事業『リアルエステートWORKS』を運営）、株式会社タイズ（メーカー領域に特化した人材紹介事業『タイズ』を運営）、株式会社オーサムエージェント（運送領域に特化した求人情報を提供する媒体『ドラピタ』を運営）から構成されております。

株式会社リジヨブに関して、クライアントサイドでは事業所の採用ニーズは高い状態が継続しているものの、新規顧客の獲得ペースは鈍化しております。ユーザーサイドにおいては求職者の動向は堅調に推移しております。

株式会社タイズに関して、クライアントの採用ニーズ及び求職者ニーズはともに堅調に推移しております。

その他事業に関して、全体として採用ニーズは堅調であり、建設やドライバー等の領域では「2024年問題」等の影響もあり、高い水準が継続しております。また求職者ニーズも同様に堅調に推移しております。

（※）株式会社S t r u c tは2024年7月1日付で株式会社アップベースに商号変更しております。また、株式会社ビヨンドボーダーズの人材紹介事業を会社分割の方法により承継しています。

b. Living Tech

Living Techは、『賃貸スモッカ』や株式会社ビヨンドボーダーズが運営する越境不動産取引事業『SEKAI PROPERTY』等の不動産に関連するメディア、リフォーム会社比較サイト『リショップナビ』やプロパンガス会社比較サイト『エネピ』等のライフサポートに関連するメディアから構成されております。

『賃貸スモッカ』に関して、クライアントサイドにおけるインターネット広告出稿需要は堅調である一方で、ユーザーサイドにおいては、インフレに伴う支出抑制影響等もあり、引越し需要はやや減退しております。

『SEKAI PROPERTY』に関して、物件の仕入れ状況は引き続き堅調に推移しております。ユーザーサイドに関しても、海外不動産需要は堅調に推移しています。

『リショップナビ』や『エネピ』等のライフサポート領域に係るクライアントサイドにおいては、インターネット広告出稿需要は堅調に推移しております。ユーザーサイドにおいては物価上昇の影響により、リフォーム需要は減退傾向にあります。一方で、物価上昇に伴う節約需要の高まりにより、光熱費の切替需要は増加傾向にあります。

c. Life Service

Life Serviceは、主に個人ユーザー向けのフランチャイズ比較サイトである『フランチャイズ比較.net』、結婚相談所比較サイト『結婚相談所比較ネット』等の比較メディア事業や株式会社アップルワールド※（旅行会社向けホテル予約媒体『アップルワールド』、旅行会社向けホテル予約媒体『Rikisha Easy REZ!』等を運営）等から構成されております。

比較メディア事業において、フランチャイズ領域や結婚領域のユーザーサイドの動きは堅調に推移しているものの、広告出稿需要はやや鈍化傾向にあります。

株式会社アップルワールド※に関して、ユーザーサイドにおいては、国内旅行需要は堅調に推移している一方で、海外渡航需要の回復は鈍化傾向にあります。クライアントサイドでは、レジャー領域において円安の影響により緩やかな回復となっているものの、業務渡航領域では比較的堅調に推移しております。

（※）株式会社アップルワールドと株式会社ティ・エス・ディは、2024年10月1日付で株式会社アップルワールドを存続会社、株式会社ティ・エス・ディを消滅会社とする吸収合併を実施しています。

その他事業においては、株式会社CORDAを中心に、コンシューマ課金サービス、事業化を検討している新規事業を営んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益は18,537百万円（前年同期比9.6%増）、売上総利益は15,188百万円（前年同期比8.3%増）、EBITDA※は5,143百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は4,118百万円（前年同期比6.7%増）、税引前四半期利益は4,106百万円（前年同期比6.8%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は2,800百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

（※）EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び償却費＋減損損失＋固定資産除却損及び評価損－負ののれん発生益

（2）財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は34,447百万円（前連結会計年度末比88百万円減）となりました。著しい増減はありませんでした。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は15,565百万円（前連結会計年度末比479百万円増）となりました。これは主に、その他の金融負債が721百万円増加した一方、未払法人所得税等が455百万円減少したこと等によるものであります。

（資本）

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は18,881百万円（前連結会計年度末比567百万円減）となりました。これは主に、利益剰余金が2,124百万円増加した一方、資本剰余金が437百万円減少、自己株式を2,232百万円取得したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度末より1,422百万円減少し、11,820百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、3,908百万円となりました。これは主に、税引前四半期利益の計上4,106百万円、減価償却費及び償却費の計上1,020百万円、法人所得税等の支払額1,340百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、2,108百万円となりました。これは主に、無形資産の取得による支出829百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,027百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、3,221百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,300百万円、長期借入金の返済による支出1,400百万円、配当金の支払額676百万円、自己株式の取得による支出2,481百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

直近の業績動向を踏まえ、2024年5月9日に発表した2025年3月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値とは異なる場合があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2024年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	13,241	11,820
営業債権及びその他の債権	4,341	4,735
その他の金融資産	23	3
その他の流動資産	1,273	667
流動資産合計	18,879	17,224
非流動資産		
有形固定資産	154	236
使用权資産	1,009	1,262
のれん	10,001	10,898
無形資産	2,441	2,779
その他の金融資産	939	1,212
繰延税金資産	1,108	833
その他の非流動資産	3	3
非流動資産合計	15,656	17,222
資産合計	34,535	34,447

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2024年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	2,255	2,897
営業債務及びその他の債務	3,065	3,230
その他の金融負債	4,593	4,808
未払法人所得税等	729	274
引当金	103	64
リース負債	450	552
その他の流動負債	1,893	1,489
流動負債合計	13,087	13,314
非流動負債		
借入金	1,299	849
引当金	163	202
リース負債	519	668
その他の金融負債	—	506
繰延税金負債	0	—
その他の非流動負債	18	26
非流動負債合計	1,999	2,251
負債合計	15,086	15,565
資本		
資本金	125	125
資本剰余金	4,969	4,532
利益剰余金	17,159	19,283
自己株式	△2,801	△5,033
その他の資本の構成要素	△4	△12
親会社の所有者に帰属する 持分合計	19,449	18,896
非支配持分	—	△14
資本合計	19,449	18,881
負債及び資本合計	34,535	34,447

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上収益	16,920	18,537
売上原価	△2,900	△3,349
売上総利益	14,020	15,188
販売費及び一般管理費	△10,175	△11,120
その他の収益	38	61
その他の費用	△24	△12
営業利益	3,860	4,118
金融収益	1	8
金融費用	△14	△19
持分法による投資損益 (△は損失)	△4	△0
税引前四半期利益	3,843	4,106
法人所得税費用	△1,068	△1,299
四半期利益	2,775	2,807
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,775	2,800
非支配持分	—	8
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	26.69	27.47
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	26.69	27.46

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期利益	2,775	2,807
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	—	7
純損益に振り替えられることのない項目合計	—	7
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△26	△3
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△26	△3
その他の包括利益合計	△26	4
四半期包括利益	2,749	2,812
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,749	2,804
非支配持分	—	8

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	
2023年4月1日残高	125	4,969	13,776	△2,801	4	16,073	16,073
四半期利益	—	—	2,775	—	—	2,775	2,775
その他の包括利益	—	—	—	—	△26	△26	△26
四半期包括利益合計	—	—	2,775	—	△26	2,749	2,749
新株予約権の発行	—	—	—	—	0	0	0
配当金	—	—	△416	—	—	△416	△416
その他	—	△0	—	—	0	0	0
所有者との取引額合計	—	△0	△416	—	0	△416	△416
2023年12月31日残高	125	4,969	16,135	△2,801	△22	18,406	18,406

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計		
2024年4月1日残高	125	4,969	17,159	△2,801	△4	19,449	—	19,449
四半期利益	—	—	2,800	—	—	2,800	8	2,807
その他の包括利益	—	—	—	—	4	4	—	4
四半期包括利益合計	—	—	2,800	—	4	2,804	8	2,812
新株予約権の行使	—	△11	—	247	△13	223	—	223
配当金	—	—	△676	—	—	△676	—	△676
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	△22	△22
自己株式の取得	—	—	—	△2,479	—	△2,479	—	△2,479
非支配株主に係る売建プット・オプション負債の変動等	—	△425	—	—	—	△425	—	△425
その他	—	△1	—	—	2	1	—	1
所有者との取引額合計	—	△437	△676	△2,232	△11	△3,357	△22	△3,379
2024年12月31日残高	125	4,532	19,283	△5,033	△12	18,896	△14	18,881

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,843	4,106
減価償却費及び償却費	942	1,020
金融収益及び金融費用(△は益)	14	11
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	187	△347
前渡金の増減額(△は増加)	221	323
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	472	59
前受金の増減額(△は減少)	33	△265
預り金の増減額(△は減少)	△1,874	192
未払消費税等の増減額(△は減少)	9	△118
その他	△7	△75
小計	3,841	4,905
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△11	△18
法人所得税等の支払額	△1,839	△1,340
法人所得税等の還付額	0	360
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,992	3,908
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△51	△135
無形資産の取得による支出	△580	△829
投資有価証券の取得による支出	—	△169
敷金・保証金の回収による収入	31	43
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,027
事業譲受による支出	△20	—
その他	△79	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△699	△2,108
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	200
長期借入れによる収入	900	1,300
長期借入金の返済による支出	△2,396	△1,400
リース負債の返済による支出	△373	△388
新株予約権の行使による収入	—	223
配当金の支払額	△416	△676
自己株式の取得による支出	—	△2,481
その他	△0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,285	△3,221
現金及び現金同等物の換算差額	△26	△0
現金及び現金同等物の増減額	△1,019	△1,422
現金及び現金同等物の期首残高	9,953	13,241
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,934	11,820

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において、独立掲記していた「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「預り保証金の増減額(△は減少)」は、金額的重要性が乏しくなったため、第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「預り保証金の増減額(△は減少)」29百万円は、「その他」として組替えしております。

(セグメント情報等の注記)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、主としてインターネット関連事業並びにこれらに付帯する業務である「ライフサービスプラットフォーム事業」を展開しており、報告セグメントは1つであります。

(2) 報告セグメントの売上収益及び業績

報告セグメントの売上収益及び業績は次のとおりであります。

報告セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
	ライフサービス プラットフォーム 事業				
売上収益					
外部顧客への売上収益	16,392	528	16,920	—	16,920
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	2	195	197	△197	—
計	16,394	723	17,117	△197	16,920
セグメント利益(注) 2	3,790	90	3,880	△20	3,860
営業利益					3,860
金融収益					1
金融費用					△14
持分法による投資損益 (△は損失)					△4
税引前四半期利益					3,843

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業化を検討している新規事業及びコンシューマ課金サービス事業等であります。
2. セグメント利益は、売上収益に売上原価、販売費及び一般管理費、その他の収益、その他の費用を加減算して算定しております。
3. 資産、負債及びその他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
	ライフサービス プラットフォーム 事業				
売上収益					
外部顧客への売上収益	18,077	460	18,537	—	18,537
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	—	243	243	△243	—
計	18,077	703	18,780	△243	18,537
セグメント利益(注) 2	4,065	66	4,131	△14	4,118
営業利益					4,118
金融収益					8
金融費用					△19
持分法による投資損益 (△は損失)					△0
税引前四半期利益					4,106

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業化を検討している新規事業及びコンシューマ課金サービス事業等であります。
2. セグメント利益は、売上収益に売上原価、販売費及び一般管理費、その他の収益、その他の費用を加減算し

で算定しております。

3. 資産、負債及びその他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。